

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・地図帳や資料集などの地図やグラフを見て考える機会を増やし、じっくり考える時間を確保した結果、社会の問題点を見出し、自分事として捉える態度が高まった。

(2) 課題

- ・地図記号や方位、その他の用語の定着につまずきが見られる。
- ・複数の資料を結び付けて共通項を見付けたり、判断したりする問題につまずきが見られる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 ▼		
第5学年	知識・技能 ≍ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 ▼	(第4学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度▼	
第6学年	知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度 △	(第5学年時) 知識・技能 △ 思考・判断 △ 主体的な態度△	(第4学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断 ▼ 主体的な態度▼

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・生産や販売の領域は、全国正答率や目標値を下回っている設問が多く、資料の読み取りや学習内容の理解が不十分であるといえる。 ・地図記号や市の様子の移り変わりについての問題は全国正答率より高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を自分の言葉でまとめるなど、文章で表現する力が十分でない。 ・生産や販売の領域は、全国正答率や目標値を下回っている設問が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区平均は目標値を上回っているのに対し、校内平均は、ほぼ目標値を下回っている。 ・類型外誤答率が高いことから、何とか回答しようと課題解決に取り組んでいる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 学年では、ごみのしよりと利用が目標値に近く、学習したことが概ね理解している。 ・ 6 学年では、工業(自動車、工業地域や貿易)の用語や知識について学習したことの定着が図れていない。日本の国土や情報を生かした産業については概ね理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料をもとに考える問題で、5 学年では目標値を上回ることが多く、6 学年も目標値に近い結果になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記述式の問題では、6 学年は概ね目標値に近い正答率だったが、5 学年は目標値を大きく下回っている。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な機会に地図記号や四方位について触れることで、社会科に関する基礎知識の定着を図る。 ・ グラフやイラスト等の具体資料では、たくさんの情報を引き出し全員で共有する場の設定をする。 ・ 実体験できない分野は、デジタル教材などを活用して、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童一人一人が学習問題を見出せるように導入の工夫(興味を引く効果的な教材の選定・資料の提示の順番・タイミング・大きさ)する。 ・ 普段の学習から、視点を定めて学習のまとめや授業の感想を書かせる活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した内容を生活の中でも確認したり生かしたりすることで学習事項を自分事として捉えるようにする等、意欲を高める工夫をする。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な機会に地図帳を使い、都道府県に触れることができるようにして、都道府県についての知識の確実な定着を図る。その都道府県と関連する事柄も一緒に覚えさせる。 ・ 日本の地形と気候の特色をきちんと結び付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常にグラフや表が出てきた時に、縦軸と横軸が表しているものを確認し、表しているものや数値をしっかりと読み取らせ、どんなことが分かるか確認する。 ・ 単元の最初や最後には、経験や既習事項をもとにして、社会的事象に 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の学習から、資料から分かることや自分の考えを書かせる活動を取り入れる。授業の最後にはまとめを書かせる活動を行い、自分の考えを表現できるようにする。日本の産業の特色に興味・関心をもつことができるようにする。

<p>て、なぜそのような特色が出るのか理由をしっかりと押さえて学習させる。</p> <ul style="list-style-type: none">• 重要語句について学習の中でノートに書かせるなど知識を高める。	<p>ついて予想したり考察したりする機会を設定する。</p>	
--	--------------------------------	--